異年齢学級の学び

方県なかよしスクール（仮称）

１．日時とテーマ

〇日時：令和５年６月２１日（水）　８時１５分～１２時２０分

〇場所：各教室

〇子供のテーマ：互いに違いを認め、みんなが幸せになる一日を創る

自律：自分で考え、判断して行動できる。課題に気づき、自発的に行動する。

共生：多様性を認め尊重し、誰ひとり取り残さないよう他者と共によりよく生きる。

創造：常識にとらわれない発想や工夫で、新たな価値を生み出す。

〇教師のテーマ：

- ①課題発見（設定）する力、②情報収集する力、③整理分析する力、④まとめ・表現する力を発揮している子供の姿を見極める力をつける。
- 子供が自分たちでみんなが幸せになる社会を創ることができるようコーチングする。

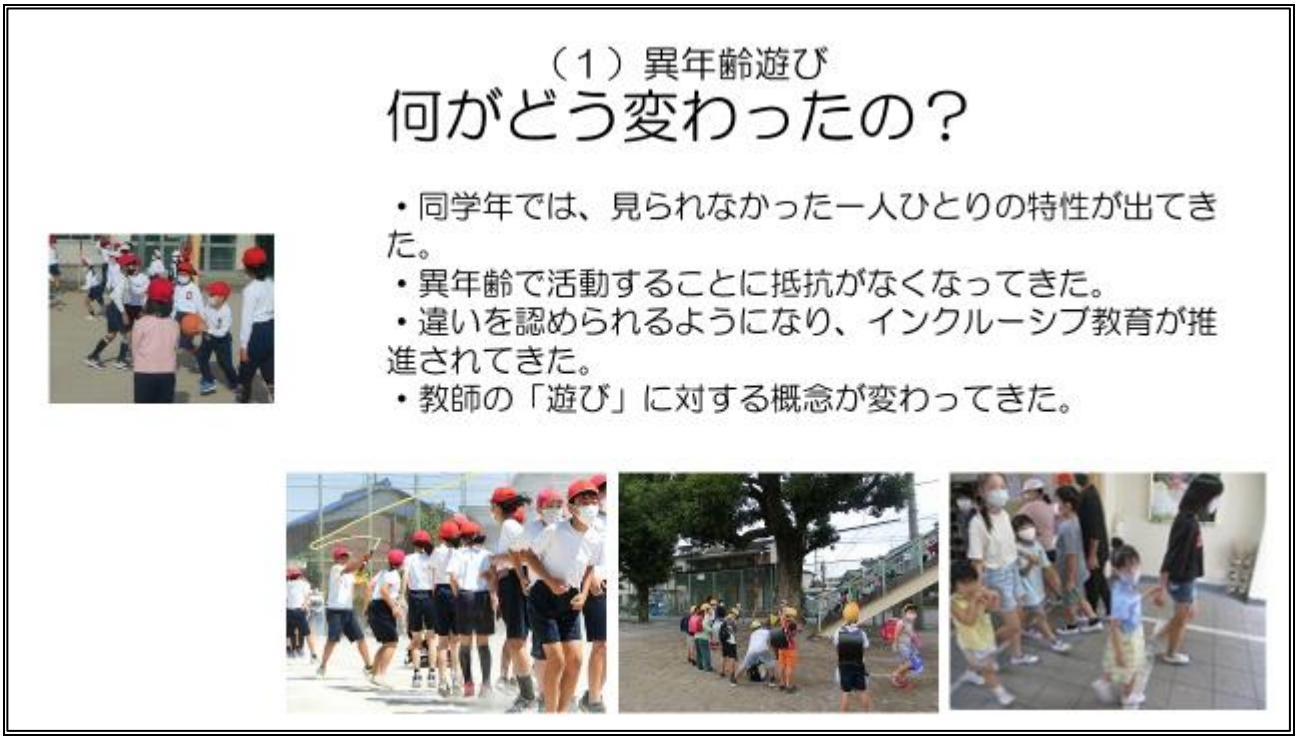
２．日程

	学習内容（教科）	概　　要
教室へ異動 ８：35～8：40		１年生を３年生が迎えに行く。
予定確認 ８：40～8：45	予定確認	
１時間目 ８：45～9：30	異年齢遊び（体育）	異年齢のみんなが楽しく遊べる活動を生み出す。課題が必ず起こるため、再度対話をもって修正していく。
２時間目 9：35～10：20	哲学対話（国語・道徳）	第１回は、用意した題材から２～３つ選択して対話する 題材（※）はNHK for schoolより
３時間目 10：45～11：30	学び合い（算数）	自分にとって必要な学びを選択して取り組む。 与えられたプリントから教科書で自習（予習・復習）
４時間目 11：35～12：20	振り返り（国語）	１時間目～３時間目の活動の振り返りをする。 グループでよさ見つけをしてカードを渡す。

３．活動の留意点

（１）異年齢遊び

テーマを意識して遊びを決定する。遊びを決定する際に、みんなが納得して活動し始めるかを見守る。トラブルやうまくいかないことが出てきた時が学びのチャンスであり、対話をもって修正するよう促す。教員はなるべく意見を言ったり方向付けをしたりしない。



（２）哲学対話

- サークルになり、全員の顔が見えるようにする。
- 対話したい話題を出し合い、３つ選択する。
- １テーマ１０分～１５分でサークル対話を行う。
- 司会は子供たちで決める。（自然発生的でもOK）
- 教員は、各グループの対話を黒板にメモする。

〇対話のコツとルール

- 話すことよりも、考えることが目的！ゆっくりと話す。
- 言っていることが分からなければ、質問をして理解に努める。
- 聞いているだけもOK、沈黙もOK。ただし、考えることは諦めない。
- 話している人の話を最後まで聞く！みんなが安心して話せる場を作りましょう。
- ほかの人を傷つける発言でなければ、どんなことでも自由に話してOK。
- 意見よりも、質問することが大事。そこで使うのが「Qワード」。
  Ｑワード　https://www.nhk.or.jp/school/sougou/q/origin/shiryou/

〇哲学対話の題材（NHK foe School　より）

- なんで人は作り笑いするの？　なんで夜は怖いの？　なんで裸は恥ずかしいの？
- お金で本当に幸せになれるの？　そもそも自分らしさって何？　ふつうってどういうこと？
- 大人ってどんな人？　嘘をつくことは悪いこと？　ともだちってたくさん必要？　等

（３）哲学対話（サークル対話）

何がどうかわったの？

・異学年で意見を出し合うため、違いを認め、受け入れる態度が身についてきた。
・それぞれの学年の立場を考えて、活動を決め出すようになってきた。
・他教科でも、サークル対話を活用し、一人ひとりの考えを話したり聞いたりして、議論する教育場面が増えた。
・意見を批判しないため、自信がなかった子供でも安心して発言できる子供が増えてきている。

（３）学び合い

〇予習（・復習）を通して、

①わからないところに気づき（発見し）、（課題発見（設定）する能力）

②教科書を見直したり仲間と聞き合ったりして、（情報収集する能力）

③わからない課題を解決するための方法を思考・判断し（整理・分析する能力）

④課題を解決するよう行動したり表現したりすることができる。（まとめ・表現する能力）

〇上学年・・・同一学年だと活躍できない児童も、リーダーとなって活躍し感謝されることを通して、自己肯定感の高まりを期待する。

〇下学年・・・身近な年上の児童にあこがれを持ったり向上心をもったりするキャリア教育としての効果を期待する。

（３）異年齢の学び合い（算数）

①学ぶ教材を自分で決める。
②わからないときは、聞く。
③聞かれたら一緒に考える。

（３）異年齢の学び合い
何がどう変わったの？

・上学年は下学年に学習を教えることで、改めて自分の優しさや存在価値に気付く。
・上学年は、下学年の無限の可能性に気付くことができる。
・どんな人にもそれぞれに価値があることに気付き、認め合うようになる。
・学級の学び合いが充実してくる。